



Sun Fire™ V480 サーバー設定および ラックマウントの手引き

サン・マイクロシステムズ株式会社
東京都世田谷区用賀 4丁目 10番 1号
SBSタワー 〒158-8633

Part No. 816-3567-10
Revision A, 2002年2月

Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリコーペイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun Fire, Sun VTS, OpenBoot は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Sun Microsystems 社の商標であり、同社の Java ブランドの技術を使用した製品を指します。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

Netscape、Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。Netscape Communicator については、以下をご覧ください。Copyright 1995 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典：	Sun Fire V480 Server Setup and Rackmounting Guide Part No: 816-0902-10 Revision A
-----	---



Please
Recycle



Adobe PostScript

目次

はじめに v

1. Sun Fire V480 サーバーの 4 ポストキャビネットへの取り付け 1
 - 4 ポストラックへの取り付けおよび設定作業のチェックリスト 2
 - サーバーの開梱 3
 - 4 ポストラックへの取り付けに必要な部品 5
 - 内部レールのシャーシへの取り付け 7
 - キャビネットの準備 8
 - 取り付け用ねじ穴の位置の確認 9
 - スライド部品の取り付け 11
 - サーバーのキャビネットへの取り付け 15
 - 次の作業 18

2. Sun Fire V480 サーバーの 2 ポストラックへの取り付け 19
 - 2 ポストラックへの取り付けおよび設定作業のチェックリスト 20
 - 2 ポストラックへの取り付けに必要な部品 21
 - 固定部品のシャーシへの取り付け 22
 - 取り付け用ねじ穴の位置の確認 23
 - 取り付け用ねじの取り付け 24
 - サーバーのラックへの取り付け 25

使用中のラックへのサーバーの取り付け	27
次の作業	29
3. 設定の手順	31
設定手順に必要な部品	32
ケーブル管理アームの取り付け	32
コードおよびケーブルの接続	35
電源コードの接続	37
より対線 Ethernet ケーブルの接続	40
キャビネットの復元	42
次の作業	42
A. 4 ポストキャビネットの要件	43

はじめに

このマニュアルでは、Sun Fire™ サーバーを 4 ポストの Sun™ 拡張キャビネットまたはその他の EIA 準拠の 19 インチ (48.26 cm) 幅キャビネット、および 2 ポストラックに取り付ける手順について説明します。また、ケーブル管理アームの取り付けおよび電源コードの接続、Ethernet ケーブルの接続の手順についても説明します。

このマニュアルの手順を完了すると、システムコンソールの設定およびサーバーへの電源投入、Solaris™ オペレーティング環境のインストール、オンラインマニュアルのインストールが可能になります。これらの手順の詳細は、『Sun Fire V480 サーバーご使用の手引き』または『Sun Fire V480 サーバー管理マニュアル』の Part I を参照してください。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次の章で構成されています。

第 1 章では、サーバーを 4 ポストキャビネットに取り付ける方法について説明します。

第 2 章では、サーバーを 2 ポストラックに取り付ける方法について説明します。

第 3 章では、ケーブル管理アームの取り付けおよび電源コードの接続、Ethernet ケーブルの接続の方法について説明します。

付録 A では、4 ポストキャビネットの要件について説明します。

書体と記号について

このマニュアルで使用している書体と記号について説明します。

表 P-1 このマニュアルで使用している書体と記号

書体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	マシン名% su Password:
AaBbCc123 またはゴシック	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm <i>filename</i> と入力します。 rm ファイル名 と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『Sun Fire V480 サーバー設定およびラックマウントの手引き』
「」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。

関連マニュアル

表 P-2 関連マニュアル

用途	マニュアル名	Part No.
最新情報	『Sun Fire V480 サーバーご使用にあたって』	816-2296
初期設置	『Sun Fire V480 サーバーご使用の手引き』	816-3533
ラックへの取り付け	『Sun Fire V480 Server 4-Post Rackmounting Overview』 (英語版)	816-0903
	『Sun Fire V480 サーバー設定およびラックマウントの手引き』 (このマニュアル)	816-3567
保守	『Sun Fire V480 Server Parts Installation and Removal Guide』 (英語版)	816-0907
管理および構成、診断、障害追跡	『Sun Fire V480 サーバー管理マニュアル』	816-2307

第1章

Sun Fire V480 サーバーの4ポストキャビネットへの取り付け

この章では、Sun Fire サーバーを4ポストのサン拡張キャビネットまたはその他のEIA準拠の19インチ(48.26 cm)幅キャビネットに取り付ける方法について説明します。Sun Fire V480 サーバーを2ポストラックに取り付ける方法については、第2章を参照してください。

マニュアルセットに含まれている『Sun Fire V480 Server 4-Post Rackmounting Overview』と、サーバーのシャーシ上部に貼り付けられている保守用ラベルには、ラックへの取り付け手順の概要を示す図が記載されています。

この章には、次の手順および情報が含まれています。

- 2 ページの「4 ポストラックへの取り付けおよび設定作業のチェックリスト」
- 3 ページの「サーバーの開梱」
- 7 ページの「内部レールのシャーシへの取り付け」
- 8 ページの「キャビネットの準備」
- 9 ページの「取り付け用ねじ穴の位置の確認」
- 11 ページの「スライド部品の取り付け」
- 15 ページの「サーバーのキャビネットへの取り付け」

4 ポストラックへの取り付けおよび設定作業のチェックリスト

表 1-1 4 ポストラックへの取り付けおよび設定作業の概要

手順	作業	参照ページ
1	サーバーおよび出荷キット、ラックマウントキットを開梱します。	3 ページの「サーバーの開梱」
2	ラックへの取り付けに必要な部品がそろっていることを確認します。	5 ページの「4 ポストラックへの取り付けに必要な部品」
3	シャーシの内部レールを取り付けます。	7 ページの「内部レールのシャーシへの取り付け」
4	キャビネットを準備します。	8 ページの「キャビネットの準備」
5	取り付け用ねじ穴の位置を確認します。	9 ページの「取り付け用ねじ穴の位置の確認」
6	スライド部品をキャビネットに取り付けます。	11 ページの「スライド部品の取り付け」
7	サーバーをキャビネットに取り付けます。	15 ページの「サーバーのキャビネットへの取り付け」
8	ケーブル管理アームを取り付けます。	32 ページの「ケーブル管理アームの取り付け」
9	電源コードを接続します。	37 ページの「電源コードの接続」
10	より対線 Ethernet (TPE) ケーブルを接続します。	40 ページの「より対線 Ethernet ケーブルの接続」
11	キャビネットを元の状態に戻します。	42 ページの「キャビネットの復元」

サーバーの開梱

出荷用梱包箱に損傷がないことを確認します。損傷があった場合は運送業者に連絡し、その業者の立ち会いのもとで開梱してください。内容物および梱包材はすべてそのまま保管し、運送業者による適正な検査を受けられる状態にしておいてください。

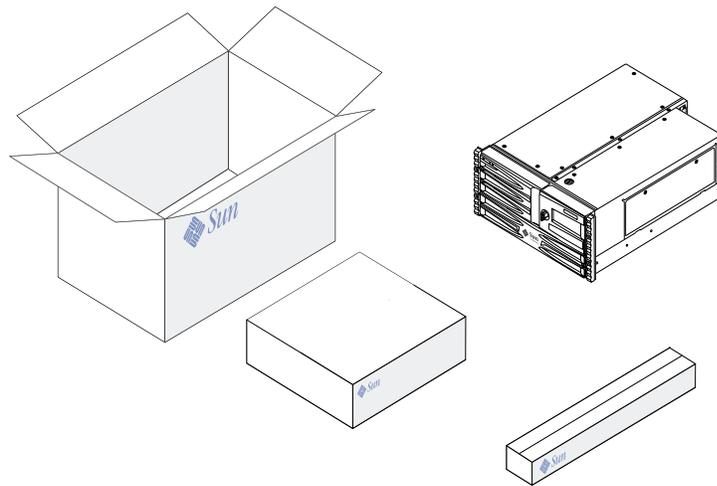
注文した部品がすべてそろっていることを確認します。出荷時に取り付けられていない周辺装置は、別に梱包されて出荷されます。部品が不足している場合は、ご購入先にご連絡ください。

注 – 内蔵ディスクドライブおよび電源装置を除き、部品の取り付けまたは交換は、すべて認定された保守作業員が行う必要があります。サーバーにオプションを取り付ける必要がある場合は、『Sun Fire V480 Server Parts Installation and Removal Guide』を参照するか、ご購入先にご連絡ください。

出荷用梱包箱には、マニュアルを載せたトレイおよび次のコンポーネントが入っています。

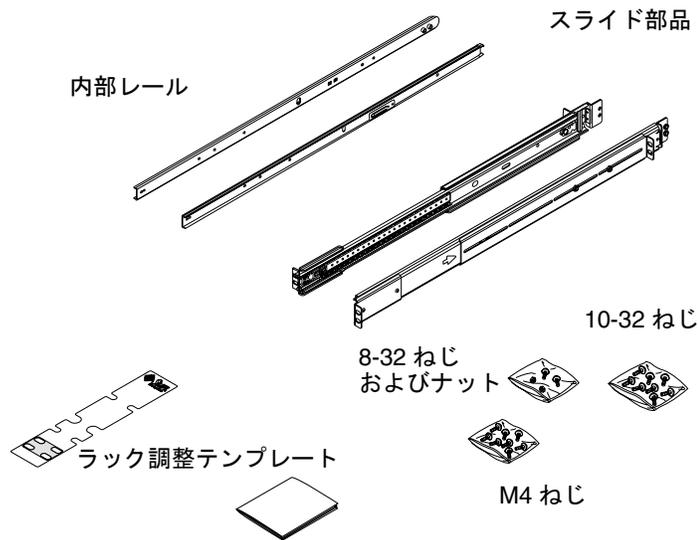
- Sun Fire V480 サーバー
- Sun Fire V480 出荷キットボックス
- 4 ポストラックマウントキットボックス

注 - 2 ポストラックマウントキットは別に梱包されて出荷されます。



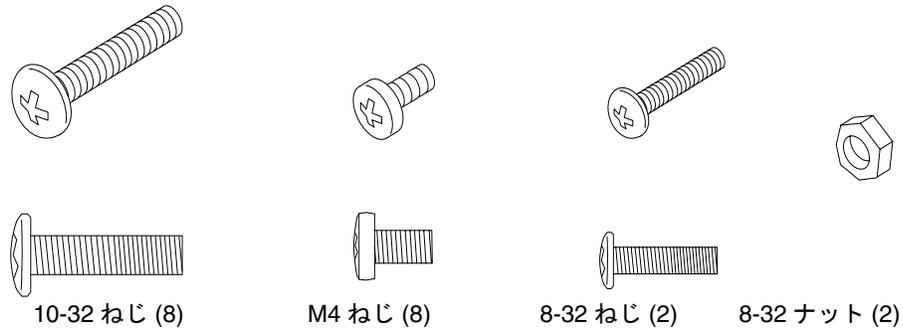
4 ポストラックへの取り付けに必要な部品

キャビネットに取り付ける Sun Fire V480 サーバー 1 台につき、4 ポストラックマウントキットが 1 つ必要です。また、出荷キットに含まれているこのマニュアルとラック調整テンプレートも必要です。



『Sun Fire V480 サーバー
設定およびラックマウントの手引き』

次に、金具のビニール袋に入っているねじおよびナットを実寸で示します。



ラックの取り付けに使用されないねじは、予備用の部品です。

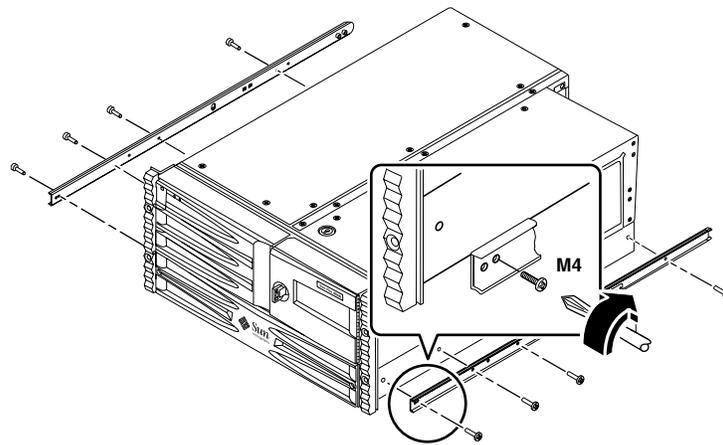
注 - ねじ山が付いていないキャビネットには、バーナットが必要です。これは、キットには含まれていません。詳細は、キャビネットに付属のマニュアルを参照してください。

必要な工具類

- プラスのねじ回し (Phillips の 2 番)
- 側面パネルを取り外すために使用する適切な六角レンチのセット (必要な場合)
- 固定部品のナットを締めるために使用するモンキーレンチ

内部レールのシャーシへの取り付け

- 2本の内部レールを、それぞれ4本のM4ねじを使用してシャーシに取り付けます。
各内部レールのまっすぐになっている方の端を、システムの正面側に向けます。内部レールの2番目の穴をシャーシの1番目の穴に合わせます。



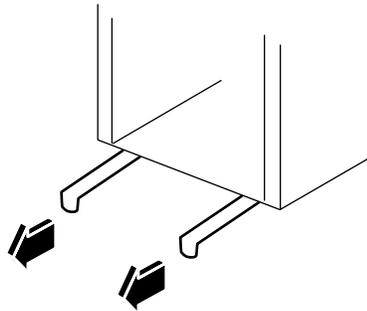
キャビネットの準備

1. キャビネットの正面ドアおよび背面ドアを開き、必要に応じて取り外します。

詳細は、キャビネットに付属のマニュアルを参照してください。

2. 転倒防止脚を伸ばすか、キャビネットをボルトで床に固定して、キャビネットを安定させます。

詳細は、キャビネットに付属のマニュアルおよび 43 ページの「4 ポストキャビネットの要件」を参照してください。



3. 必要に応じて、キャビネットから側面パネルを取り外します。

詳細は、キャビネットに付属のマニュアルを参照してください。側面パネルを取り外すと、サーバーをキャビネットに固定するときにナットおよびねじを取り付けやすくなります。

取り付け用ねじ穴の位置の確認

- 各スライド部品を取り付けるために使用するラックレールのねじ穴の位置を確認し、印を付けます。

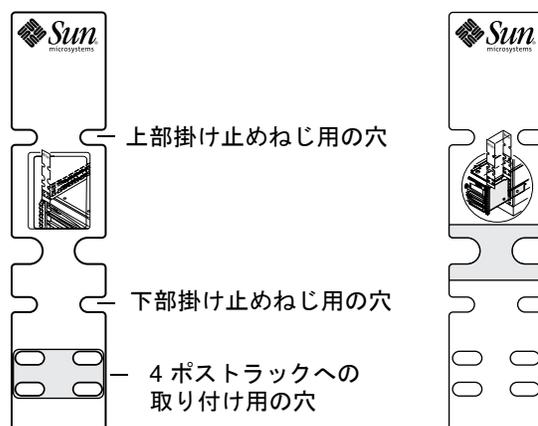
垂直ラックレールのねじ穴を数えるか、マニュアルセットに含まれているラック調整テンプレートを使用します。各スライド部品をラックに取り付けるときは、ラック内で前後左右が同じ高さになるようにします。

ラック調整テンプレートは、5 ラックユニット (22.22 cm/8.75 インチ) 分の長さがあります。標準のラックレールのねじ穴は、5/8、5/8、1/2 インチおきに空いている3つのねじ穴で1セットになっているため、スライド部品を取り付けるために使用する2つのねじ穴は、サーバーのラック内の位置によって異なります。

ラック調整テンプレートは、一方の面が2ポストラック用、もう一方の面が4ポストラック用になっています。2ポストラックへの取り付けについては、第2章を参照してください。

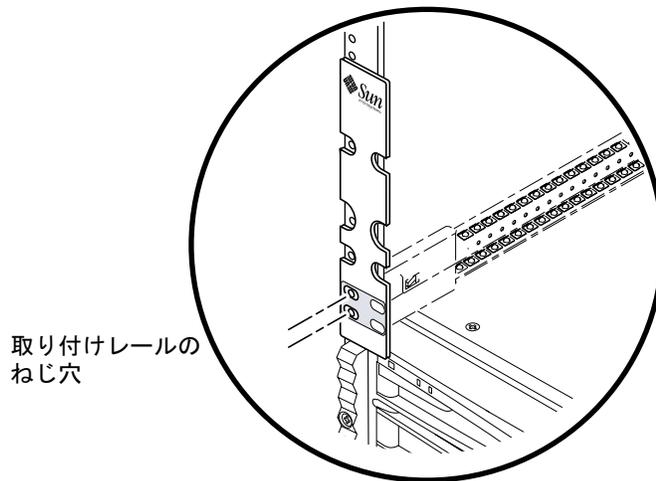
ラック調整テンプレートの4ポストラックへの取り付け用の穴は、スライド留め具を垂直ラックレールに取り付けるときに使用します。テンプレートの上部および下部掛け止めねじ用の穴は、サーバーをラックに取り付けたあとで、サーバーを固定する掛け止めねじの位置を確認するために使用します。

次の図に、ラック調整テンプレートの両面を示します。



ラック調整テンプレートを使用するには、次の手順に従ってください。

- a. ラック調整テンプレートを正面左側の垂直ラックレールに当て、テンプレートの底辺をサーバーの底部に当たる位置まで移動します。



- b. 下部掛け止めねじ用の穴の中心がレールのねじ穴に合うように、ラック調整テンプレートをずらしします。
- c. ラック調整テンプレートの2つのスライド留め具取り付け用ねじ穴を通して、垂直ラックレールのねじ穴でもっともよく見える2つの位置を確認し、印を付けます。
この2つの取り付け用ねじ穴を使用して、正面レールにスライド部品を取り付けます。正面右側の垂直ラックレールの、対応するねじ穴にも印を付けます。

スライド部品の取り付けに関するガイドライン



注意 - 転倒防止脚を伸ばすか、キャビネットをボルトで床に固定して、キャビネットを安定させてください。

- はじめてキャビネットにサーバーを取り付ける場合は、ねじ穴 9 とねじ穴 10 または 11 を使用します。これは、AC 電源シーケンサがキャビネット最下部のねじ穴 1 ~ 6 を使用するためです。
- スライド部品は、使用可能なもっとも低い位置に取り付けます。
- 追加のサーバーは、キャビネットの下から順に取り付けます。

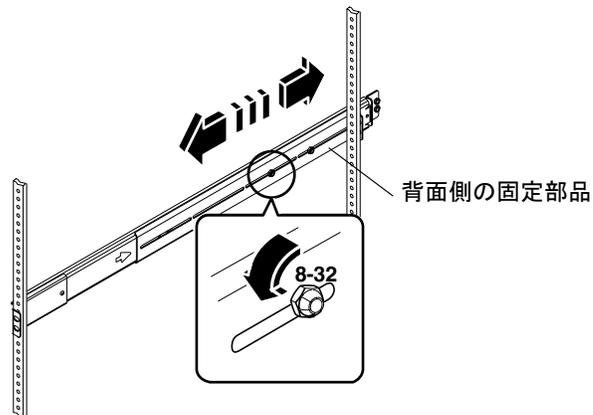
スライド部品の取り付け

1. ラック調整テンプレートを使用して、垂直ラックレールの取り付け用ねじ穴の位置を確認し、印を付けます。

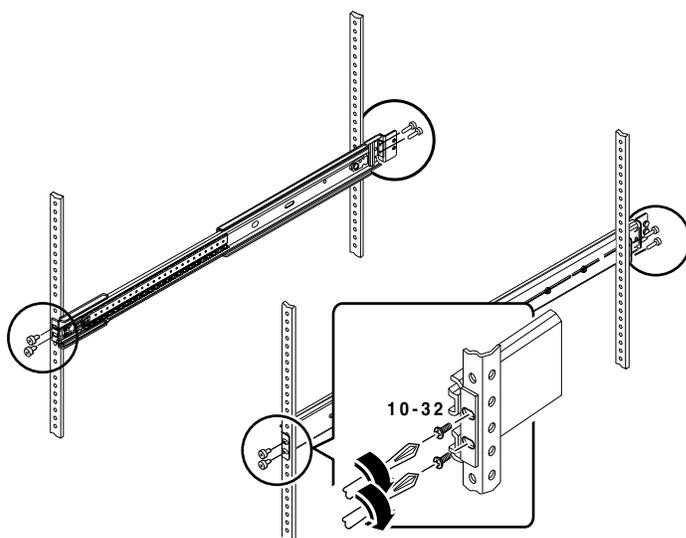
詳細は、9 ページの「取り付け用ねじ穴の位置の確認」を参照してください。

2. ラックの奥行に合うように、背面側の固定部品を調節します。

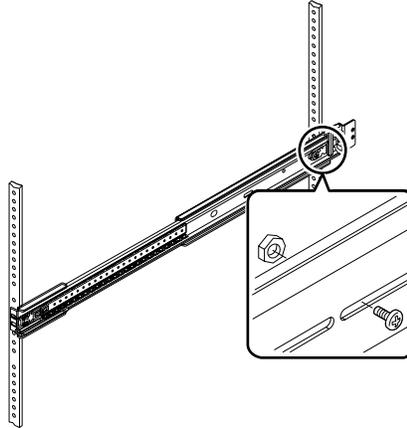
- 背面側の固定部品の 8-32 ロックナットを緩めるか、必要に応じて取り外します。
- ラックの奥行に合うように、各スライド部品の背面側の固定部品を前後に調節します。



3. 補助要員と一緒に、ラックの両側で正面および背面の垂直レールにスライド部品を取り付けます。
 - a. 手順 1 で印を付けたねじ穴を使用します。
 - b. キャビネット内部にスライド部品の 1 つを配置します。正面側の (短い方の) 固定部品を、ラックの正面に取り付けます。
 - c. プラスの 10-32 なべ頭ねじを各留め具に 2 本ずつ使用して、正面側の固定部品をキャビネットの正面レールに取り付け、同じスライド部品の背面側の (長い方の) 固定部品をキャビネットの背面レールに取り付けます。背面レールのねじ穴を数えて、正面レールのねじ穴の位置に合っていることを確認します。
 - d. この手順をほかのスライド部品でも繰り返します。



4. ラックの奥行が 69.21 cm (27.25 インチ) を超える場合は、図に示すように、背面側の固定部品にプラスの 8-32 ねじおよび 8-32 ロックナットを取り付けます。

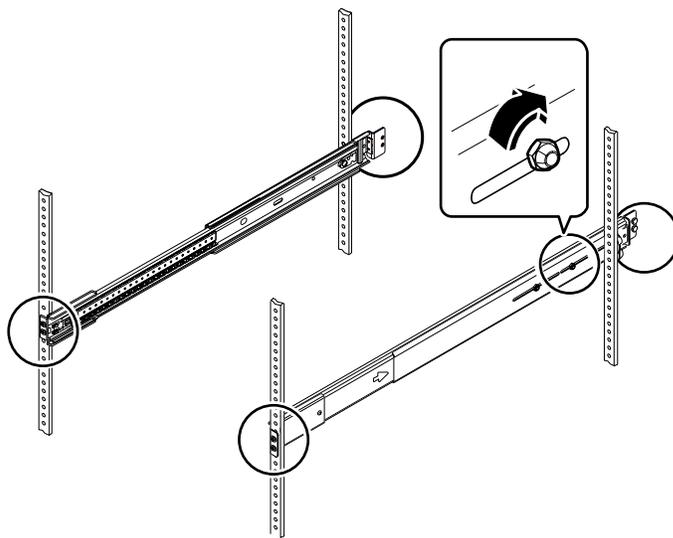


5. すべての取り付け用ねじを完全に締めます。
- スライド部品の前後左右が同じ高さになっていることを確認します。
 - 8 本の 10-32 ねじを締めて、スライド部品を垂直取り付けレールに固定します。

6. 図に示すように、8-32 ロックナットを締めて、背面側の固定部品をスライド部品に固定します。

背面側の固定部品が各垂直取り付けレールにしっかりと取り付けられていることを確認します。

7. 図に示すように、各スライド部品が完全にキャビネット内に収まっていることを確認します。



サーバーのキャビネットへの取り付け



注意 – サーバーをキャビネットに取り付ける前、またはキャビネットから取り外す前には、動いたり前方に傾斜したりしないようにキャビネットが固定されていることを確認します。キャビネットの固定については、キャビネットに付属のマニュアルを参照してください。



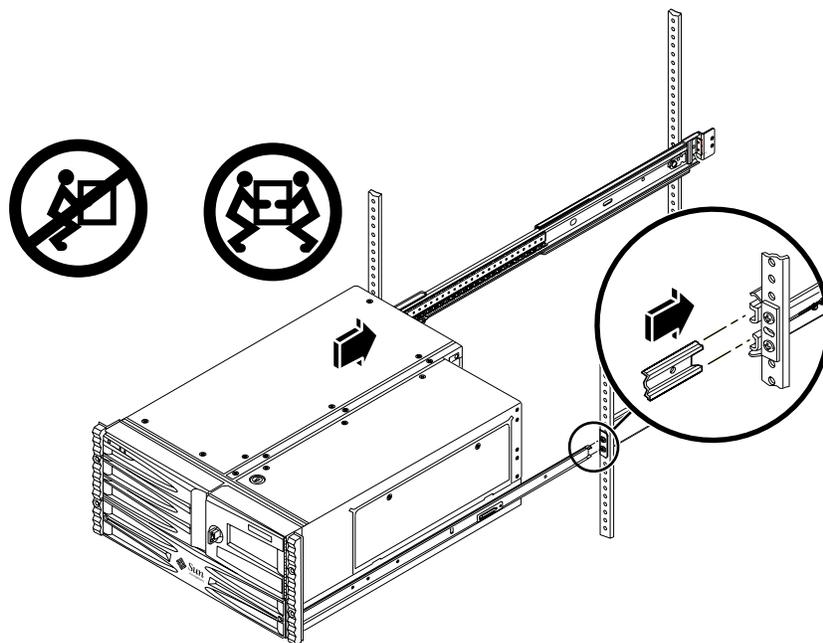
注意 – サーバーは重量があります。サーバーの移動は、2 人で行う必要があります。

注 – 各スライド部品が完全にキャビネット内に収まっていることを確認し、各スライド部品のボールベアリングレールが完全に前方に引き出されていることを調べます。

1. サーバーの両側に 1 人ずつ立ってサーバーを持ち上げ、サーバーの背面がキャビネットの正面を向くようにしてキャビネットに近づきます。
2. サーバーの内部レールの丸くなった方の端をキャビネットのスライド部品に合わせます。

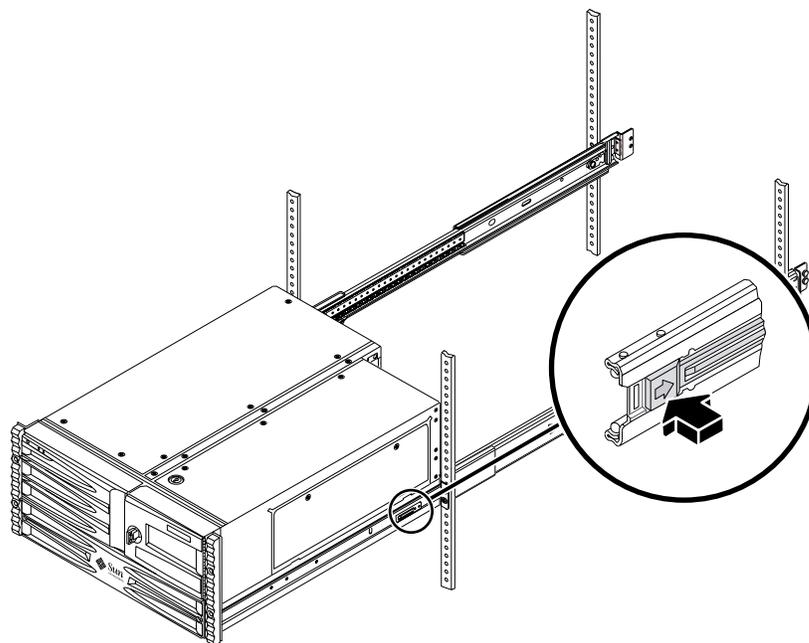
注 – サーバーに取り付けられている内部レールがボールベアリングレール内に挿入されていることを確認します。

3. サーバーを水平に保ちながら、キャビネットの奥まで完全にスライドさせます。

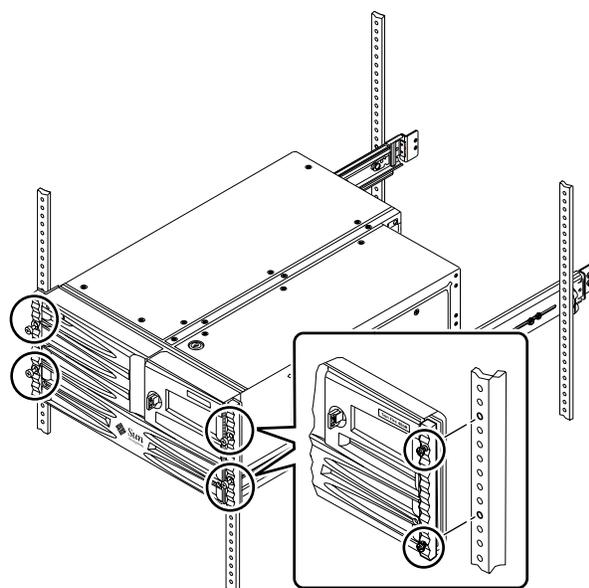


参照 – サーバーをゆっくりと慎重にキャビネットから出し入れして、スライド部品が正常に動き、障害物がないことを確認します。

注 - サーバーをキャビネットから完全に引き出した場合、サーバーをキャビネットに戻すには、各内部レールの留め金を押す必要があります。次の図を参照してください。



4. トリムパネル上の 4 本の脱落防止機構付きねじを締めて、サーバーを正面の垂直取り付けレールに固定します。



次の作業

次の手順では、電源コードおよび Ethernet ケーブルを接続します。第 3 章に進んでください。

第2章

Sun Fire V480 サーバーの 2 ポストラックへの取り付け

この章では、Sun Fire V480 サーバーを 2 ポストラックに取り付ける手順について説明します。

注 – Sun Fire V480 サーバーを 2 ポストラックに取り付けた場合、ラックに取り付けたままで保守できるのはディスクドライブおよび電源装置だけです。ほかのコンポーネントの保守作業を行うには、サーバーをラックから取り外す必要があります。詳細は、『Sun Fire V480 Server Parts Installation and Removal Guide』を参照してください。

この章には、次の手順および情報が含まれています。

- 20 ページの「2 ポストラックへの取り付けおよび設定作業のチェックリスト」
- 21 ページの「2 ポストラックへの取り付けに必要な部品」
- 22 ページの「固定部品のシャーシへの取り付け」
- 23 ページの「取り付け用ねじ穴の位置の確認」
- 24 ページの「取り付け用ねじの取り付け」
- 25 ページの「サーバーのラックへの取り付け」
- 27 ページの「使用中のラックへのサーバーの取り付け」

2 ポストラックへの取り付けおよび設定作業のチェックリスト

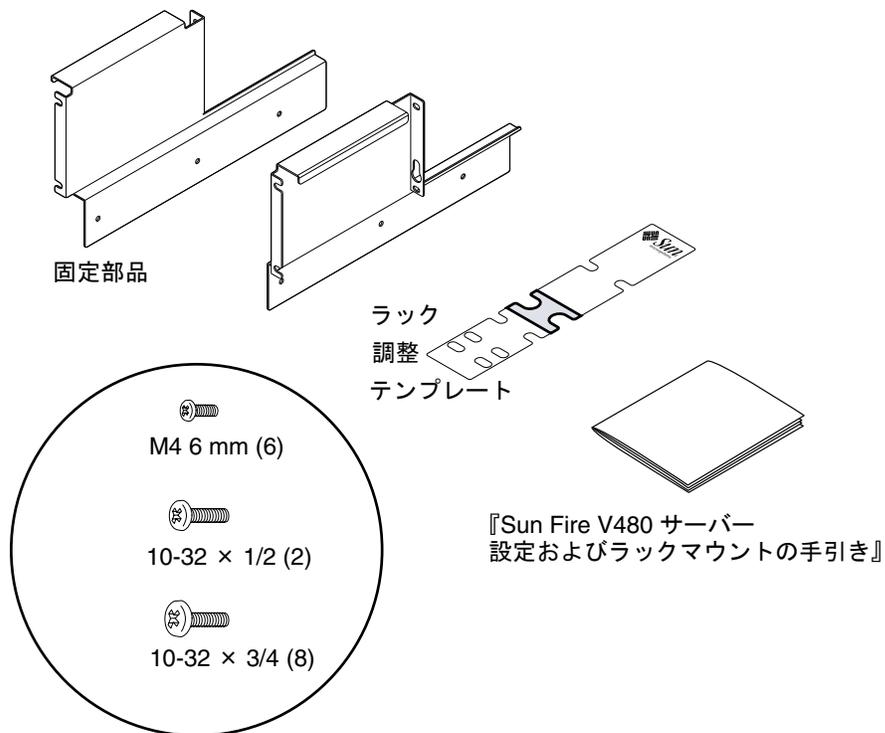
表 2-1 2 ポストラックへの取り付けおよび設定作業の概要

手順	作業	参照ページ
1	ラックマウントキットを開梱して、内容物を確認します。	21 ページの「2 ポストラックへの取り付けに必要な部品」
2	留め具をサーバーに取り付けます。	22 ページの「固定部品のシャーシへの取り付け」
3	取り付け用ねじ穴の位置を確認します。	23 ページの「取り付け用ねじ穴の位置の確認」
4	取り付け用ねじを取り付けます。	24 ページの「取り付け用ねじの取り付け」
5	サーバーをラックに取り付けます。	25 ページの「サーバーのラックへの取り付け」
6	ケーブル管理アームを取り付けます。	32 ページの「ケーブル管理アームの取り付け」
7	電源コードを接続します。	37 ページの「電源コードの接続」
8	より対線 Ethernet (TPE) ケーブルを接続します。	40 ページの「より対線 Ethernet ケーブルの接続」

注 - すでにサーバーが取り付けられているラックにサーバーを取り付ける場合は、これとは異なる手順になります。27 ページの「使用中のラックへのサーバーの取り付け」を参照してください。

2 ポストラックへの取り付けに必要な部品

ラックに取り付ける Sun Fire V480 サーバー 1 台につき、2 ポストラックマウントキットが 1 つ必要です。また、出荷キットに含まれている『Sun Fire V480 サーバー設定およびラックマウントの手引き』(このマニュアル) およびラック調整テンプレートも必要です。

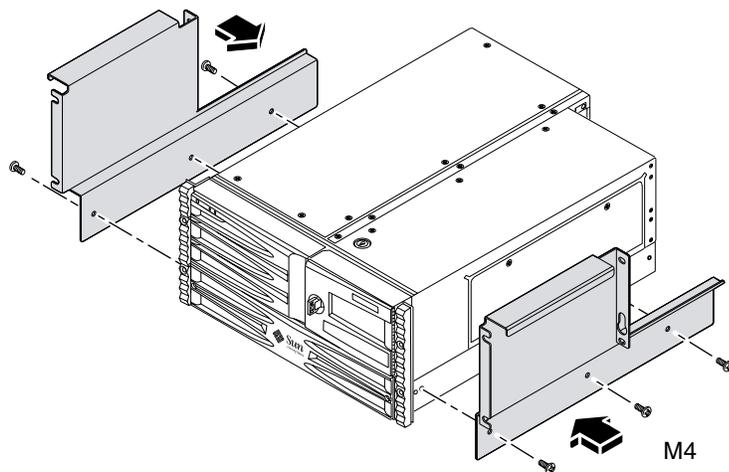


必要な工具類

- 長いプラスのねじ回し (Phillips の 2 番)

固定部品のシャーシへの取り付け

- 各固定部品を、それぞれ 3 本の M4 ねじを使用してシャーシに取り付けます。

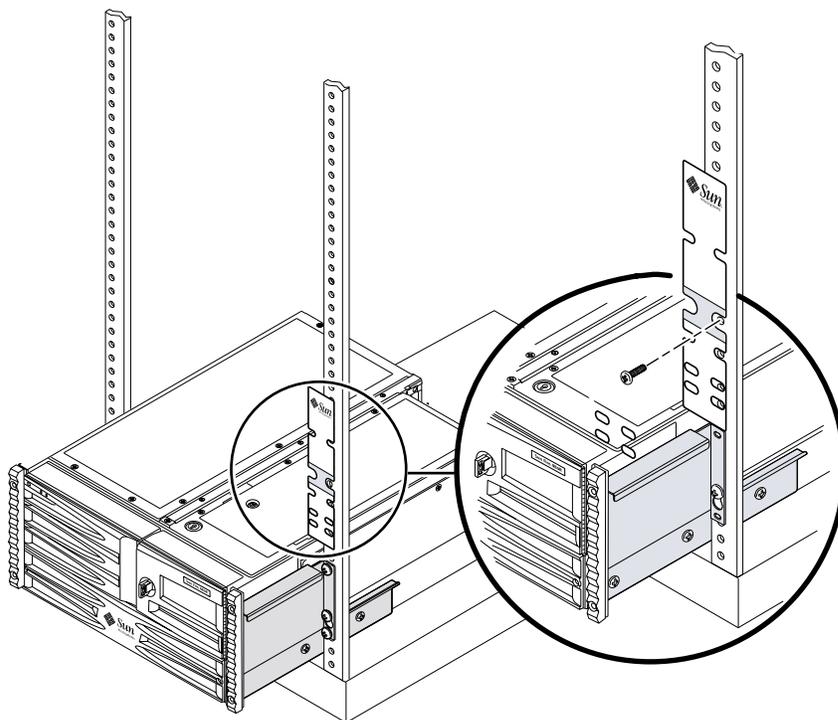


取り付け用ねじ穴の位置の確認

- ラック調整テンプレートを使用して、各垂直ラックレールの取り付け用ねじ穴の位置を確認し、印を付けます。サーバー 1 台につき、6 ラックユニットのスペース (26.67 cm/10.5 インチ) が必要です。

ラック調整テンプレートを使用するには、次の手順に従ってください。

- a. 2 ポストラック用の印が付いている面を表にして、ラック調整テンプレートを垂直ラックレールに当てます。
- b. ラック調整テンプレートをサーバーを取り付けるスペースに当て、ラック調整テンプレートの底辺を下のサーバーの上部に合わせます。下の図を参照してください。
- c. 取り付け用ねじ穴の中心がラックレールのねじ穴に合うようにラック調整テンプレートをずらし、そのレールのねじ穴に印を付けます。

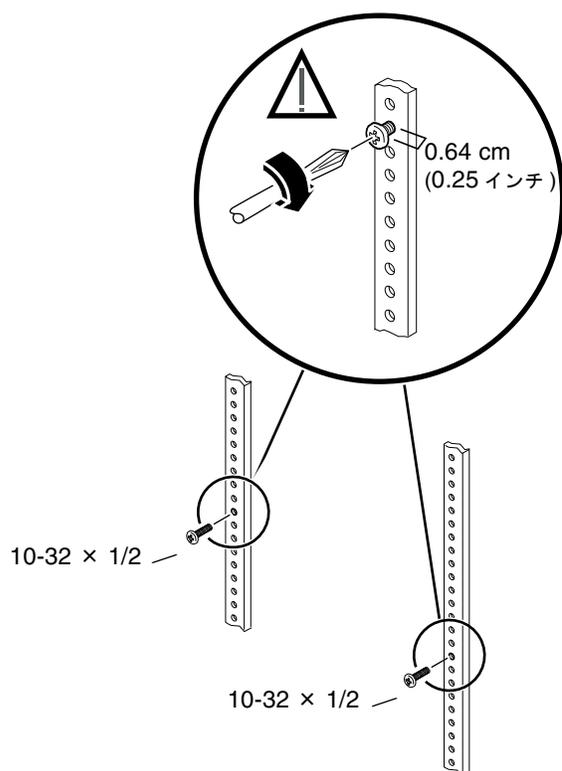


注 - サーバーを7ラックユニット未満のスペースに取り付ける場合は、取り付け用ねじ穴の位置を確認したり、取り付け用ねじを取り付けたりする必要はありません。すぐにサーバーをラックに取り付けることができます。詳細は、27ページの「使用中のラックへのサーバーの取り付け」を参照してください。

取り付け用ねじの取り付け

- 左右の垂直取り付けレールに 10-32×1/2 ねじを1本ずつ取り付けます。

前の手順で印を付けたねじ穴を使用します。サーバーを取り付けるまで、ねじはゆるく締めておきます。各ねじの頭部と取り付けレールの間には、0.64 cm (0.25 インチ) の隙間を空けてください。



サーバーのラックへの取り付け



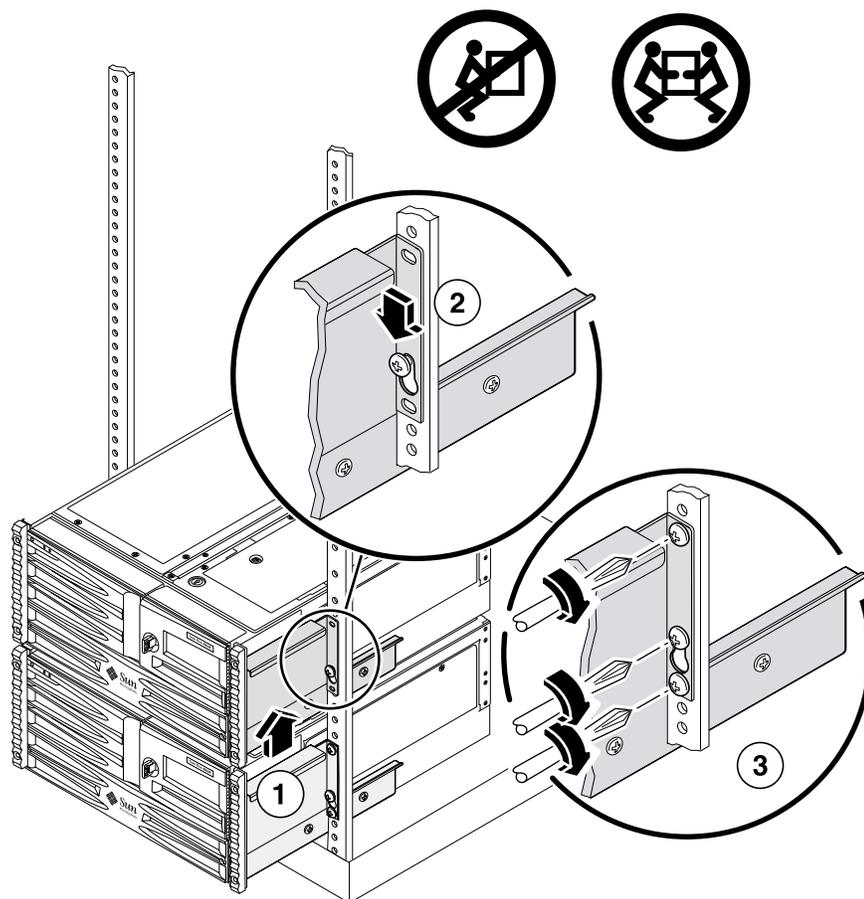
注意 – サーバーをラックに取り付ける前、またはラックから取り外す前には、動いたり前方に傾斜したりしないようにキャビネットが固定されていることを確認します。ラックの固定については、ラックのマニュアルを参照してください。



注意 – サーバーは重量があります。サーバーの移動は、2 人で行う必要があります。

1. サーバーの両側に 1 人ずつ立ってサーバーを持ち上げ、サーバーの背面がラックの正面を向くようにしてラックに近づきます。
2. サーバーを持ち上げた状態で、左右の垂直取り付けレールの取り付け用ねじの頭部を固定部品の大きい方のねじ穴に通します。
サーバーを下にずらして、取り付け用ねじがサーバーを支えるようにします。

3. 6本の10-32ねじ(左右それぞれに2本のねじと取り付け用ねじ)を使用して、サーバーを垂直取り付けレールに固定します。



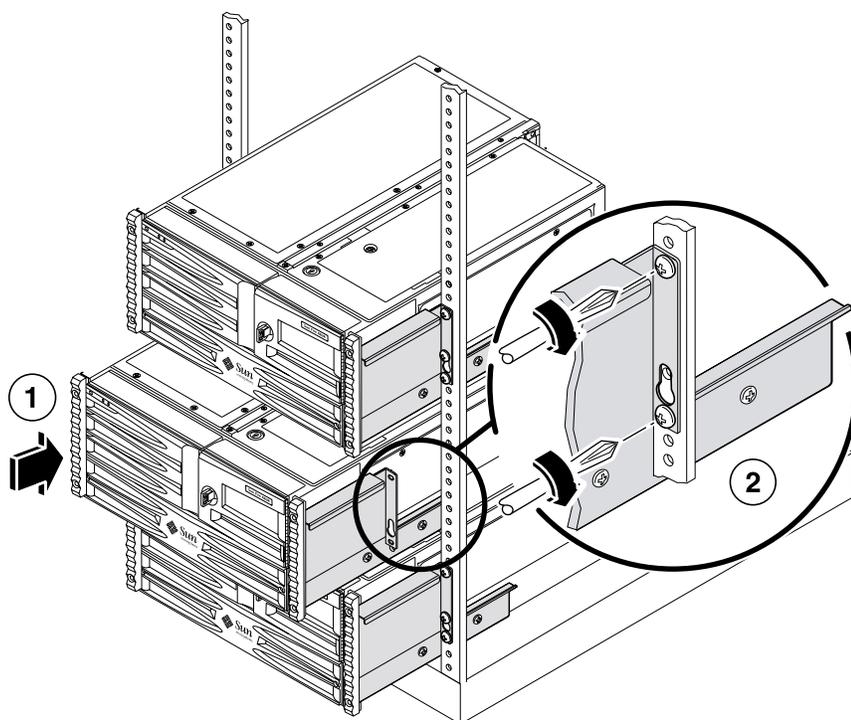
使用中のラックへのサーバーの取り付け

各固定部品を、それぞれ 3 本の M4 ねじを使用してシャーシに取り付けます。詳細は、22 ページの「固定部品のシャーシへの取り付け」を参照してください。

1. サーバーをラックの空いている位置にスライドさせて挿入します。

サーバー 1 台につき、6 ラックユニットのスペース (26.67 cm/10.5 インチ) が必要です。

2. プラスのねじ回し (Phillips の 2 番) を使用して、左右の垂直取り付けレールの上部ねじおよび下部ねじを締めます。



注意 - 使用中の 2 ポストトラックにサーバーを取り付ける場合、または使用中の 2 ポストトラックからサーバーを取り外す場合は、サーバーをしっかりと支えて、下に取り付けられているコンポーネントに損傷を与えないようにしてください。

次の作業

次の手順では、電源コードおよび Ethernet ケーブルを接続します。第 3 章に進んでください。

第3章

設定の手順

この章では、ケーブル管理アームの取り付けおよび電源コードの接続、Ethernet ケーブルの接続の方法について説明します。

この章の手順を完了すると、システムコンソールの設定およびサーバーへの電源投入、Solaris オペレーティング環境のインストール、オンラインマニュアルのインストールが可能になります。これらの手順の詳細は、『Sun Fire V480 サーバーご使用の手引き』または『Sun Fire V480 サーバー管理マニュアル』の Part I を参照してください。この章の説明を実行する前に、Sun Fire V480 サーバーが 4 ポストキャビネットまたは 2 ポストラックに取り付けられていること (第 1 章および第 2 章を参照) を確認してください。

この章には、次の手順および情報が含まれています。

- 32 ページの「設定手順に必要な部品」
- 32 ページの「ケーブル管理アームの取り付け」
- 37 ページの「電源コードの接続」
- 40 ページの「より対線 Ethernet ケーブルの接続」
- 42 ページの「キャビネットの復元」

設定手順に必要な部品

ケーブル管理アームの取り付けとコードおよびケーブルの接続には、出荷キットおよびラックマウントキットに含まれている次の部品が必要です。

- ケーブル管理アーム
- 電源コード
- Ethernet ケーブル

ケーブル管理アームの取り付け

この手順では、キャビネットまたは 2 ポストラックに取り付けられたサーバーにケーブル管理アームを取り付ける方法について説明します。サーバーをキャビネットに取り付ける方法については、第 1 章を参照してください。サーバーを 2 ポストラックに取り付ける方法については、第 2 章を参照してください。

1. 内部レールの背面側にある、水平に並んだ 2 つの取り付け用ねじ穴の位置を確認します。

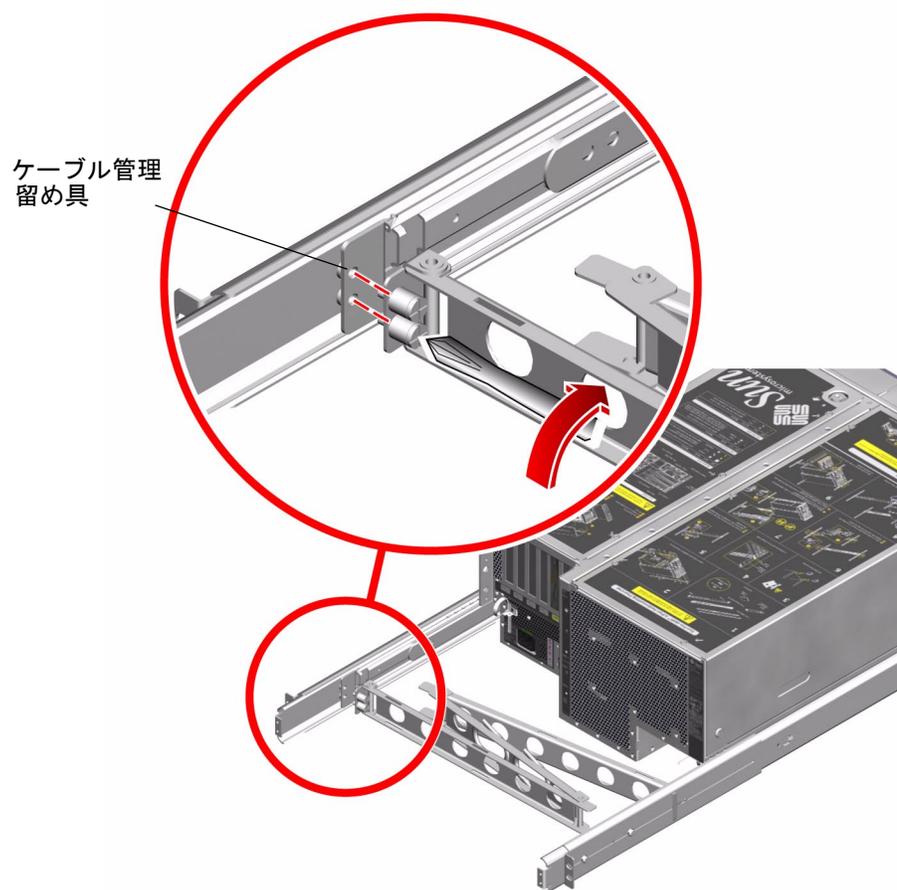
ケーブル管理アームは、サーバーのどちら側に取り付けても構いません。

2. ケーブル管理アームの水平に並んだ脱落防止機構付きねじを、内部レールの対応する取り付け用ねじ穴に合わせます。

3. プラスのねじ回し (Phillips の 2 番) で、ケーブル管理アームの 2 本の水平に並んだ脱落防止機構付きねじを内部レールに固定します。



4. もう一方のレールのケーブル管理留め具の位置を確認します。
5. ケーブル管理アームの垂直に並んだ脱落防止機構付きねじを、ケーブル管理留め具の対応するねじ穴に合わせます。
6. プラスのねじ回し (Phillips の 2 番) で、ケーブル管理アームの 2 本の脱落防止機構付きねじをケーブル管理留め具に固定します。



7. 同梱のマジックテープを使用して、ケーブルをケーブル管理留め具に固定します。
サーバーをキャビネットから出し入れしやすいように、ケーブルには十分なゆとりを持たせてください。

コードおよびケーブルの接続

- 図に示すように、サーバーにコードおよびケーブルを接続します。

表 3-1 に、図に示したポートの説明を示します。

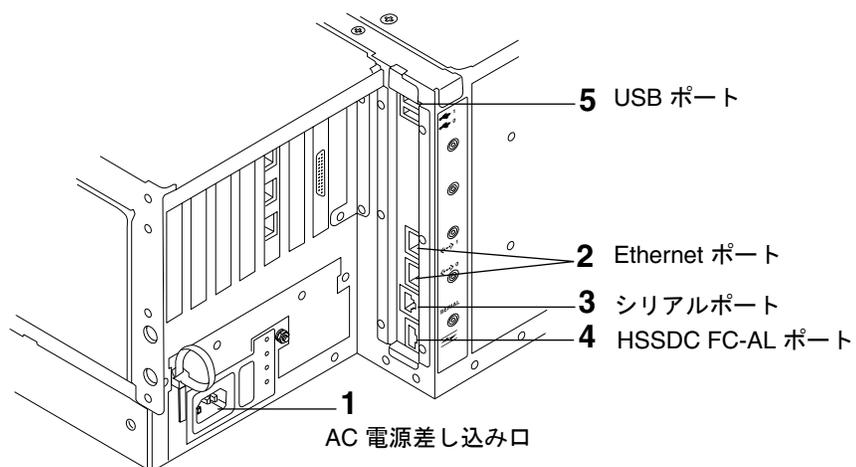
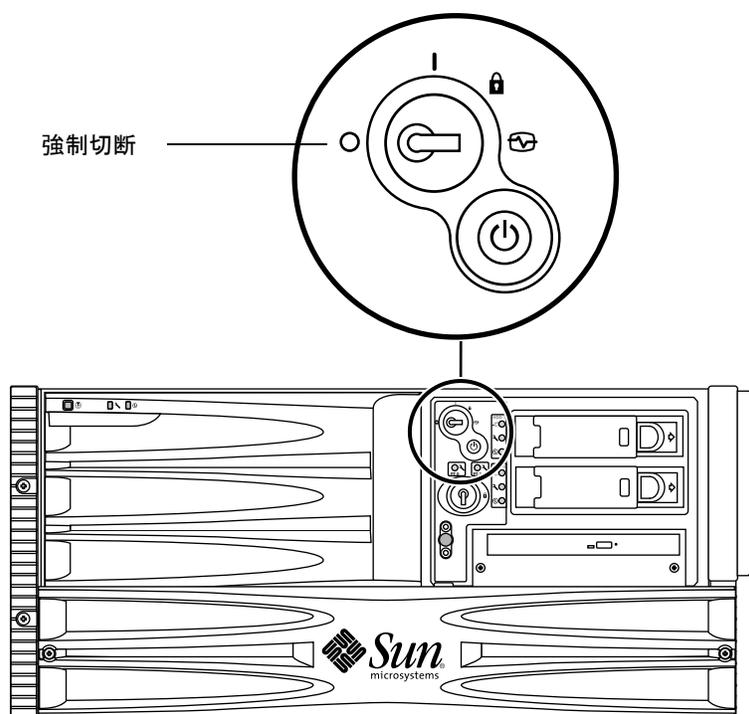


表 3-1 背面パネルのポート

	背面パネルのポート	情報
1	電源コードの 2 つの AC 電源差し込み口 (図に示したのは、その 1 つ)	各 AC 電源差し込み口に電源コードを接続します。 詳細は、37 ページの「電源コードの接続」を参照してください。
2	Ethernet ポート	1 つ以上の Ethernet ポートに TPE ケーブルを接続します。詳細は、40 ページの「より対線 Ethernet ケーブルの接続」を参照してください。
3	シリアルポート	このポートを使用して、tip 接続を設定するか、ASCII 端末を接続します。詳細は、『Sun Fire V480 サーバー管理マニュアル』を参照してください。ASCII 端末に接続する場合は、出荷キットに含まれている RJ-45 ケーブルおよび DB-25 アダプタ (サンのパーツ番号 530-2889-03) を使用します。
4	HSSDC FC-AL ポート	このポートに接続できる装置については、『Sun Fire V480 サーバー管理マニュアル』を参照してください。
5	USB ポート	このポートに接続できる装置については、『Sun Fire V480 サーバー管理マニュアル』を参照してください。

電源コードの接続

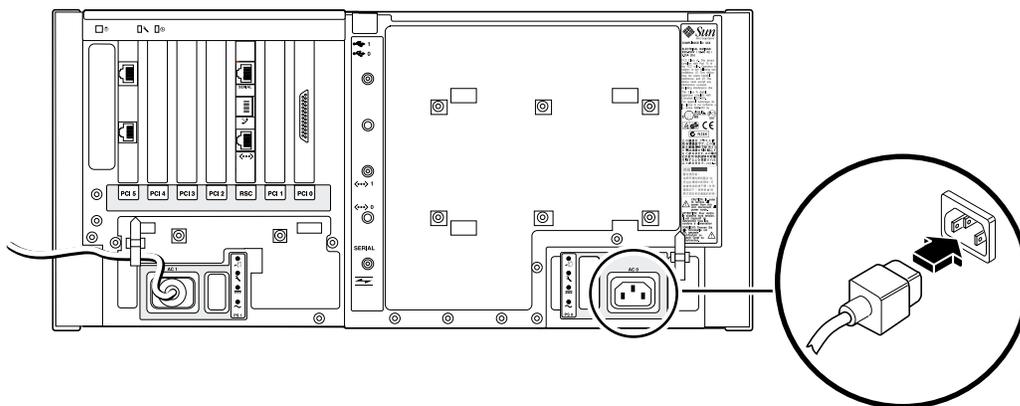
1. 正面パネルのメディアドアのロックを解除して、ドアを開きます。
2. 正面パネルのシステム制御スイッチにシステムキーを差し込みます。
3. システム制御スイッチを強制切断位置に設定します。



4. AC 電源コードをサーバー背面の AC 電源差し込み口に接続します。各電源コードのもう一方の端を、キャビネットの電源シーケンサまたはアースされた AC 電源コンセントに接続します。

注 - サーバーに接続するコンセントは、北米および日本では 15A 回路、ヨーロッパでは 10A 回路である必要があります。詳細な要件については、その地域の電気に関する条例を調べてください。電源シーケンサの詳細は、キャビネットに付属のマニュアルを参照してください。

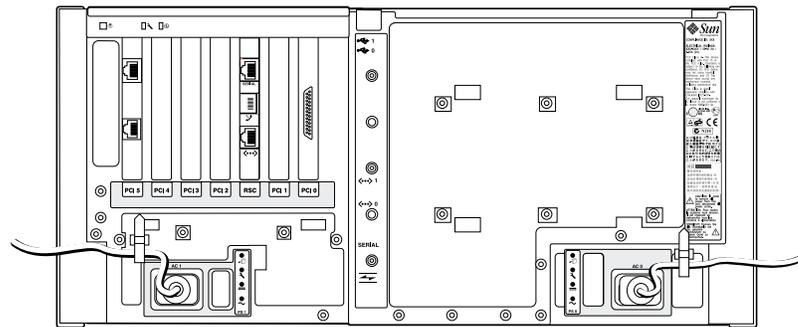
注 - サーバーの冗長性を高めるため、電源コードは別々の回路に接続してください。



5. 各 AC 電源コードに留め具を付けます。

留め具を使用して、事故または不注意によって AC 電源コードが差し込み口から外れないようにします。留め具とは、プラスチック製のタイラップと、サーバーの背面パネルにはめ込まれたタイラップの固定具のことです。電源コードをサーバーの AC 電源差し込み口に取り付けたあと、この留め具でコードを固定します。

留め具を使用するときは、爪を押してタイラップを外します。タイラップの外れている方を AC 電源コードにかぶせ、固定具の開口部にタイラップを通します。タイラップの端を引っ張って、しっかり締めます。



より対線 Ethernet ケーブルの接続

背面パネルの Ethernet ポートの 1 つに、より対線 Ethernet (TPE) ケーブルを接続します。各ネットワークインタフェースは、ネットワークの特性に従って、10 Mbps または 100 Mbps、1000 Mbps のいずれかに自動的に設定されます。

1. 次の表を参考にして、ネットワークポートを選択します。

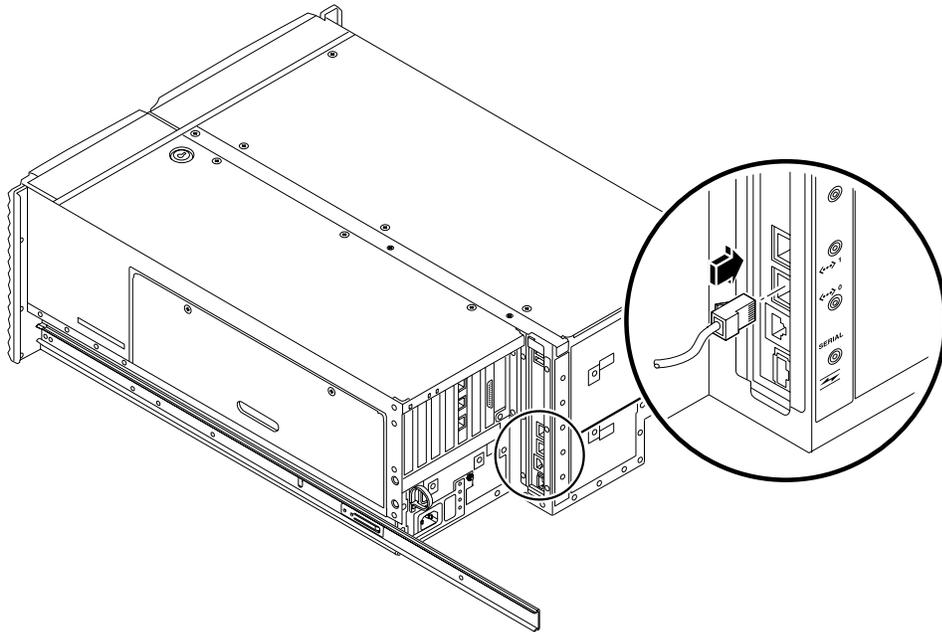
Ethernet ポート	PCI バス/クロックレート	OBP の デバイス別名	デバイスパス
1	PCI C/66 MHz	net1	pci@9, 600000/network@1
0	PCI D/33 MHz	net0	pci@9, 700000/network@2

取り付けるインタフェースに適した TPE コネクタを選択してください。サーバーの TPE コネクタは、背面パネルと RSC カードに 1 つずつあります。

また、PCI Ethernet インタフェースカードによって、サーバーに 1 つ以上の TPE コネクタを装備する場合があります。

2. カテゴリ 5 のシールドなしより対線 (UTP) ケーブルを、適切な RJ-45 コネクタに差し込みます。

コネクタの爪が適切に差し込まれると、カチッという音が聞こえます。UTP ケーブルの長さは、100 m (328 フィート) を超えることはできません。



3. TPE ケーブルのもう一方の端を、Ethernet ネットワークの RJ-45 コンセントに差し込みます。



注意 – このコネクタは、電話ポートではなく TPE RJ-45 ポートに差し込んでください。誤ったポートを使用すると、TPE 装置が損傷することがあります。正しいポートに挿入すると、コネクタの爪が適切に差し込まれたときにカチッという音が聞こえます。

ネットワークの接続方法の詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

キャビネットの復元

詳細な手順については、キャビネットに付属のマニュアルを参照してください。

1. ケーブル管理アームを使用して、AC 電源ケーブルおよびその他のケーブルを配線します。
2. 必要に応じて、キャビネットの転倒防止脚を収納します。
3. 必要に応じて、側面パネルを取り付けます。
4. 必要に応じて、正面および背面ドアを取り付けます。

次の作業

次に、システムコンソールの設定およびサーバーへの電源投入、Solaris オペレーティング環境のインストールを行います。これらの作業については、『Sun Fire V480 サーバー管理マニュアル』の Part I または『Sun Fire V480 サーバーご使用の手引き』を参照してください。

付録 A

4 ポストキャビネットの要件

サーバーは、高さ 72 インチ (184 cm) のサンの拡張キャビネット、または次の表に示す要件に一致するその他の EIA 準拠の業界標準キャビネットに取り付けるように設計されています。ラックに搭載するサーバー 1 台につき、サンのラックマウントキットが 1 つ必要です。

注 - 4 ポストキャビネット内のシステムは、スライド部品で引き出すことによって、すべて保守が可能です。

表 A-1 4 ポストラックの要件

キャビネットの要点	要件
耐荷重容量	ラックは、キャビネットに取り付ける Sun Fire V480 サーバーの台数分の重量 (サーバー 1 台の重量は 44 kg/97 ポンド) に加えて、ラック取り付け用部品およびその他の付属装置の重量をしっかりと支えられるものである必要があります。
垂直方向のスペースの要件	各サーバーをラックに取り付けるには、垂直方向に 5 ラックユニット (22.22 cm/8.75 インチ) のスペースが必要です。72 インチ (184 cm) のサンのキャビネットには電源シーケンサが付属しているため、サーバーを 7 台まで取り付けることができます (電源シーケンサがある場合、使用可能なスペースは 36 ラックユニットになります)。
ドアおよびパネル	サンの拡張キャビネットを使用する場合は、システムの取り扱いをより容易にするために、正面および背面ドアと側面パネルを取り外すことができます。それ以外のキャビネットを使用する場合は、キャビネットに付属のマニュアルを参照してください。

表 A-1 4 ポストラックの要件 (続き)

キャビネットの要点	要件
転倒防止保護	<p>キャビネットは、しっかりとボルトで床に固定するか、2本の丈夫で伸縮可能な転倒防止脚を装備する必要があります。1台以上のシステムまたは装置をキャビネットの正面から完全に引き出した場合でも、キャビネットが前方に傾かないようにする必要があります。</p>
通気	<p>システム動作時の通気量は、周囲の気温または高度にかかわらず 200 cfm です。この通気量によって、35°C (95°F) および 3,048 m (10,000 フィート) までの冷却が行えるように設計されています。</p> <p>サーバーを適切に通気するため、正面および背面ドアは次の開口要件を満たしている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • サーバーのすぐ前にある正面ドアは、面の 60 % 以上が開口している必要があります。 • サーバーのすぐ後ろにある背面ドアは、面の 63 % 以上が開口している必要があります。 • システムと正面または背面ドアの間には、3.8 cm (1.5 インチ) 以上のスペースを空けます。 <p>キャビネットのドアが開口要件を満たしていない場合は、そのドアを取り外してください。</p>
垂直取り付けレール	<p>キャビネットは、取り付け用ねじ穴の間隔が EIA (RETMA) 標準に適合する 4 本の垂直取り付けレール (正面側に 2 本、背面側に 2 本) を備えている必要があります。</p> <p>正面および背面レールの左右のレールの間隔は、取り付け用ねじ穴の中心から中心までが 46.5 cm (18.3 インチ) である必要があります。</p> <p>正面レールと背面レールの間隔は、正面レールの外側から背面レールの外側までが 58.42 cm (23 インチ) 以上 87.63 cm (34.5 インチ) 以下である必要があります。</p> <p>正面および背面の垂直レールの取り付け面は、互いに平行であるとともに、ラック正面の面とも平行である必要があります。</p>

表 A-1 4 ポストラックの要件 (続き)

キャビネットの要点	要件
EMI 保護	電磁妨害 (EMI : Electromagnetic Interference) 保護の要件は、システムのシャーシおよび金属製の側面パネルによって満たされており、これは装置がラックに搭載されても変わりません。
最小保守スペース	取り付けおよび保守作業用に、奥行 1 m (3 フィート) 以上、幅 2 m (6 フィート) 以上のスペースが必要です。
耐火性	キャビネットは、Underwriters Laboratories, Inc. と TUV Rheinland of North America の耐火性に関する要件を満たしている必要があります。

